



イフジ産業の鶏卵相場予想

2022年 5月 の鶏卵相場予想

220円

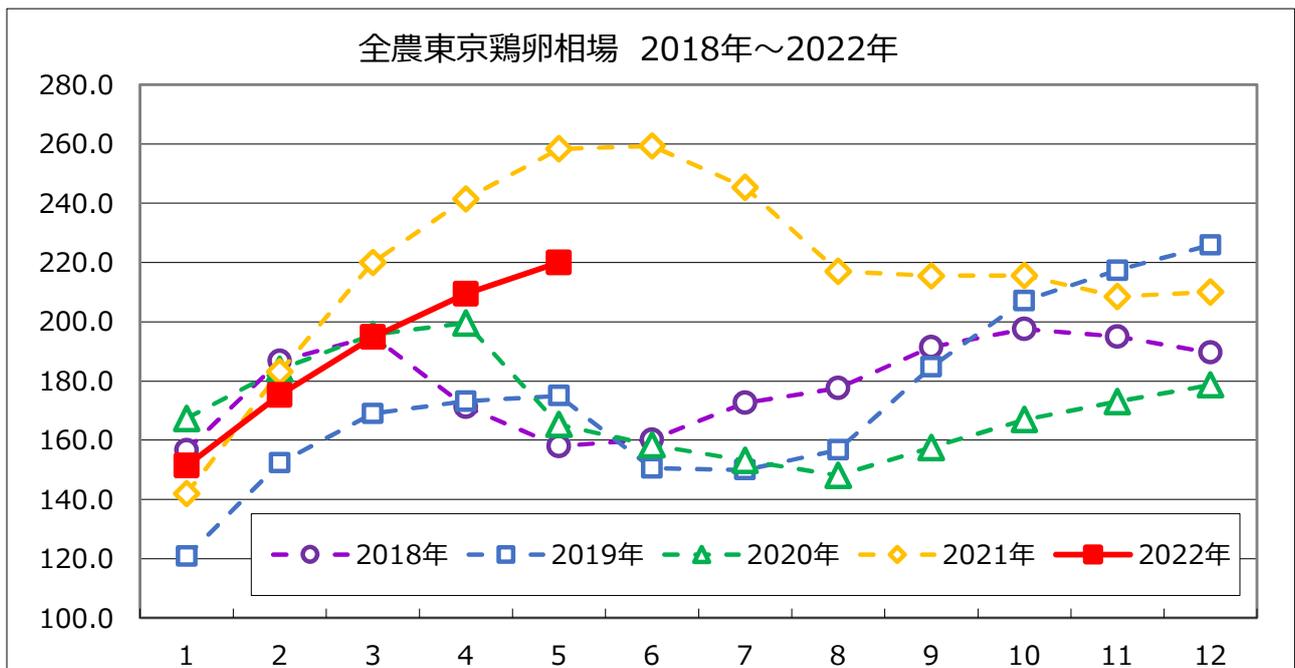
(全農東京相場LM加重平均)

4月の相場ですが、前月の相場を引き継ぎ、Lサイズ・Mサイズともに200円からスタートしました。その後、4月5日、12日、19日、26日に両サイズとも各5円ずつ上伸しました。(2022年4月26日時点のLM加重平均は220円)

供給面では、昨今の世界情勢悪化による燃料・運賃・包装資材などのコスト上昇及び穀物高騰による飼料高が続き、生産者を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっています。生産抑制の動きもありタイトな状態が見受けられます。また、鳥インフルエンザのシーズンを越えたかと思われましたが、採卵鶏で4月16日に北海道(約52万羽)、19日に秋田県(約400羽)で発生が確認されました。特に北海道については、道内全体の約1割の羽数が減少し札幌相場が大幅に上昇しました。本州から北海道への荷動きも出ていると思われます。需要面では、3月21日で「まん延防止等重点措置」が全国で解除されたことで、外食需要がやや回復傾向となったほか、加工筋の引き合いも強く堅調な推移となっています。4月の月間LM加重平均は209.44円(2022年4月26日までの平均値)

さて、5月の相場予想ですが、供給面では、4月と同様に世界情勢の悪化が続くことや、北海道の鳥インフルエンザの影響もあり、変わらずタイトな状況が続くものと思われます。また、海外の鶏卵情勢も厳しい環境となっています。米国・南米・EU諸国でも鳥インフルエンザが蔓延しており、相場も急激な上昇を見せています。その影響で輸入製品(乾燥卵、冷凍卵など)の供給難や価格高騰となっています。一方需要面ですが、5月初頭はGWによる需要増が予想されますが、その後は落ち着いていく季節となります。しかし、先に記載している海外相場の状況から国内鶏卵製品へのシフトも考えられ、一部の需要が高まる可能性もあります。5月連休明けは、例年ならば全体を通して弱含みの推移となるところですが、供給面・需要面ともに特殊な環境下のため、保合傾向で推移する可能性もあると予想いたします。

今後も、鶏卵業界を取り巻く環境は、世界情勢・市況が刻々と変化することが予想され、不透明な状況が続くものと考えられます。5月の月間LM加重平均は220円付近と予想いたします。



※2022年4月の相場は4月26日までの平均値。5月は予想値。
 ※予想は当社独自のものであり、あくまで予想です。
 ※この情報に関するお問い合わせ等はご遠慮ください。

Egg ×
Something =

「タマゴテック」でライフスタイルの殻を破る

